

---

# doubt

葵 景子

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

doubt

### 【コード】

N3089B

### 【作者名】

葵 景子

### 【あらすじ】

お久しぶりです。今回は、「詞」です。感想くれたら嬉しいです。

-  
-  
-  
-  
K  
·  
A  
O  
I  
-  
-  
-  
-

-  
-  
-  
-  
-  
-  
-  
d  
o  
o  
u  
b  
t  
-  
-  
-  
-  
-  
-

わかってる  
悪いのは僕だって事  
でもきみの後ろ姿に  
魅かれたんだ  
さよならを言うきみ  
大きすぎるドア  
白すぎる壁

何も変わったことなんて  
本当に何も無いけど  
だけど  
きみの声だけ  
聞こえずに消えた  
何も変わったことなんて  
本当に何も無いけど  
だから  
僕のを  
燃やし尽くした

知りすぎた

僕達だから  
分かり合える日が  
来ると思えた  
知らないのは  
きみだけで  
壁の落書き  
甘すぎる匂い

何も変わったことなんて  
何もないけど  
それでもきみは  
叫び続けた  
何か変わったことが  
あったのだとしたら  
それは僕の  
翼が燃えたこと

何も言わない壁  
伝わりすぎる体温  
暖かい血  
何もかもが  
金色に見えたあの日

分かつている  
知っている  
何もかも  
僕が悪いんだ  
きみのすべて  
僕の手で  
燃やし尽くせたら  
悲しい過去  
美しい未来  
残酷な声

何も変わったことなんて  
何もないと信じたいけど  
何か変わったことが  
あるなら終わろう  
きみには似合わない  
そのコートを脱ぎ捨て  
今からそう  
飛び出して

何か変わったことなんて  
考えなくて良くて  
何もかもが燃えるとき  
考えなくてはいけない  
きみの声  
僕の声  
燃えた翼

僕の現在  
きみの過去  
淋しい大人

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n3089b/>

---

doubt

2011年1月22日02時21分発行